

令和5年度第2回多賀城市公共交通会議

議事録

1 日時

令和6年3月11日（月）午前10時から午前11時30分

2 場所

多賀城市役所 3階 第一委員会室議事録

3 議事録

事務局 定刻前ではございますが、委員のみなさまがお揃いなので、会議を開始させていただきます。本日はお忙しいところお集まりいただきまして誠にありがとうございます。只今より「令和5年度第2回多賀城市公共交通会議」を開会します。なお、本日の会議は、記録のために録音させていただいておりますので、ご了承ください。また、本日の会議の議事録につきましては、多賀城市公共交通会議設置要綱第6条第5項の規定に基づき、ホームページ等において公開することになりますので予めご承知おきください。それでは、次第に沿って会議を進めさせていただきます。はじめに、本日の会議開催にあたり、深谷市長からご挨拶申し上げます。

市長 本日は、お忙しい中、令和5年度第2回多賀城市公共交通会議に御出席いただき、誠にありがとうございます。また、日頃から市政に対しましてご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

今回の公共交通会議では、前回開催した公共交通会議において、委員の皆様から「多賀城西部線のバスルート延伸及びバス停留所の新設について」様々なご意見をいただきました。そのご意見を参考に多賀城西部線の運行管理者である株式会社仙塩交通と一緒に検討を進めて参りましたが、本日、新たなバスルート、バス停留所及びバスダイヤについて、内容が固まりましたので、委員の皆様方に説明させていただきます。この新たなバスルート、バス停留所及びバスダイヤにより、これまで運行していなかった留ヶ谷地区へのバスルートの延伸や多賀城創建1300年を契機とした国府多賀城駅や中央公園方面への観光客等の受け入れに配慮した運行が実現できるものと考えております。

今後も委員の皆様方や関係団体と意見交換を行いながら、協力体制を築いて本市のより良い公共交通の構築に向けて、進めて参りますので、本会議におきましても、皆様方から忌憚のないご意見を頂戴しながら審議いただければと思っております。本日は、どうぞよろしく願いいたします。

事務局 恐れ入りますが、ここで、市長は他の公務のため退席させていただきます。

それでは、本日の会議出席された委員の皆様につきましては、本日配布いたしました委員名簿をご確認いただき、ご紹介は省略させていただきたいと思っております。

[欠席者を紹介]

以上により、本日の会議は、13名の委員に出席いただいておりますので、多賀城市公共交通会議設置要綱第6条第2項の規定に基づき、本会議が成立していることをご報告させていただきます。

[事務局職員紹介]

本会議は、多賀城市公共交通会議設置要綱第6条第1項により、多賀城市公共交通会議の運営は会長が議長となりますので、徳永会長には議長席へ移動をお願いします。

議事に入る前に、委員の皆様はご承知かと思いますが、改めて多賀城市公共交通会議について、説明させていただきます。

多賀城市公共交通会議は、道路運送法の規定に基づき、地域における住民生活に必要なバスなどの旅客輸送の確保、そのほか旅客の利便の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議するための会議でございます。委員の皆様には、本市のより一層の公共交通充実のため、忌憚のない議論をお願いいたします。

それでは、只今から議事に入りたいと思います。徳永会長、よろしくをお願いします。

会長 それでは、議事に入りたいと思います。皆様、円滑な進行にご協力よろしくをお願いします。

本日の会議は、協議事項として、「多賀城西部線のバス停留所の新設・廃止及び運行ダイヤの改正について」と、「多賀城市生活交通ネットワーク計画の課題への取組み及び計画の変更について」の2件、報告事項として、「多賀城東部線及び多賀城西部線運行の実績等報告」と、「社会実験の状況と利用者の動向等」の2件となっておりますので、よろしくをお願いいたします。

それでは議題（1）協議事項ア「多賀城西部線のバス停留所の新設・廃止及び運行ダイヤの改正について」から始めたいと思います。それでは、事務局より説明をお願いします。

[資料に基づき事務局説明]

会長 ありがとうございます。続きまして、多賀城西部線の事業者である仙塩交通の委員から、補足説明等ございますか。

委員 多賀城西部線のバス事業を実施させていただいております。今回のバス運行ルートの変更箇所については、私どもも利用者から要望されていたところであり、多賀城市でも延長を検討していたところでしたので、共同して検討を進めて参りました。バスの運行ルートについては、実際にバスを走らせてバスが通行可能か、バス停留所として適切か多賀城市と警察の方にも、実際に走らせるバスに乗りいただいて確認をして参りました。バスの運行ダイヤについても、距離が延長になりますので、現在のバス利用者の利便性も考慮しながら、また運転士の休憩時間も考慮した形で、検討を進めて参りました。今後、私どもの方で運輸局に申請し、協議を進めるうえで、この公共交通会議での承認が大変重要になってきますので、この後の協議について、よろしくをお願いします。

会長 ありがとうございます。

ただいまの事務局及び鳴原委員からの説明につきまして、委員の皆様から何かご意見等ございますでしょうか。

委員 今回、ヨークベニマル塩釜店までバスルートが延伸となりますが、塩釜市の公共交通体系にも若干の影響があるかと思えます。そこで、塩竈市や塩竈市公共交通会において、報告等が必要になるかと思えますが、今後どのような内容で進めていくのかご

教示いただければと思います。

事務局 塩竈市危機にバスが入っていくこととなりますので、今回この内容をご承認いただいた後は、塩竈市公共交通会議に報告案件として上げていただくことを予定しておりました。なお、本案件については、塩竈市の公共交通の担当者へは事前に周知しております。

委員 塩竈市域で乗降する場所はあるのでしょうか。

事務局 ヨークベニマル塩釜店になります。

委員 ヤマザワ多賀城店前のバス停留所は、東北歴史博物館方面に行くときに1箇所あるわけですが、反対側のバス停留所はないのでしょうか。

事務局 ヤマザワ多賀城店前で乗車いただいた方は、一度東北歴史博物館前を経由した後は、ヤマザワ多賀城店の反対側では停車せずに、次のバス停留所へ向かうルートとなります。この点は、バス利用者の方が勘違いされないように、周知を行って行きたいと思っております。

会長 バスでの表示は、どのようになっているのでしょうか。

事務局 北回り、南回りと表示されているのみとなります。

会長 その表示によって、バス利用者に行き先の区別がつくかどうかですよね。

事務局 多賀城駅方面へ帰ろうかと思った方が、誤って岩切方面に行ってしまうことも考えられるので、間違えなることのないよう周知したいと思います。

会長 最初から時刻表を見て行動している方は問題ないと思いますが、バス乗車時に、多賀城駅方面なのか、岩切駅方面なのかが分かれば、混乱は避けられるかと思っております。

委員 質問ではないのですが、ヨークベニマル塩釜店へバスルートが延伸となりますが、この延伸となる留ヶ谷地区は以前からバスを走らせてほしいと要望があったところです。先週、留ヶ谷地区の役員の方とお会いする機会があったのですが、留ヶ谷地区を通ることとなり、たいへん嬉しいとお話をされていまして、この場でお伝えさせていただきました。

委員 東北歴史博物館の開館時間以外に乗降する必要があるのか教えていただければと思います。

事務局 東北歴史博物館は、閉館時間もゲートは開いている状況なので、閉館時間も利用できるバス停留所となっています。また、閉館時間に利用される想定としては、国府多賀城駅や中央公園に行かれる方が利用できる想定をしています。

委員 外から来た方に分かるように東北歴史博物館間のバス停留所などへ、国府多賀城駅の案内などをする予定はあるのでしょうか。

事務局 地域の足としての利便向上と来訪者の利便向上を目的としているので、利用者には分かりやすく案内設備や周知方法を鳴原委員と調整しながら進めて行きたいと思っております。

会長 バス停留所を降りたときに、国府多賀城駅、中央公園に向かうときの案内表示をお願いしたいと思います。また、時間帯によっては利用者が少ないことや従来と比較しバスドライバーの拘束時間が長くなっていることもあるので、利用状況を見ながらダイヤを見直しして行くことも必要かと思われれます。

最後にもう1点、バス停留所に店舗名が使われているので、ネーミングライツなどの広告収入も考えても良かったのではないかと思います。ほかに店舗などからバス利

用についての周知等を協力していただくことも検討していただければ、利用促進に繋がると思います。

事務局 公告収入は、大きな収入源に繋がるものですので、今後考えて行きたいと思います。

会長 追加資料2のように、地区ごとの時刻表などがあるとより利用しやすい環境になることと、観光目的での来訪者へはバス時刻表だけではなく、観光ルートの案内、例えば時刻入りのモデルコースなど観光部局でぜひ考えていただければと思います。

その他よろしいでしょうか。

それでは、(1) 協議事項ア 多賀城西部線のバス停留所の新設・廃止及び運行ダイヤの改正については承認、ということでもよろしいでしょうか。

[意義なしの声]

会長 それでは承認といたします。

続いて、議題(1) 協議事項イ「多賀城市生活交通ネットワーク計画の課題への取り組み及び計画の変更について」、事務局より説明をお願いいたします。

[資料に基づき事務局説明]

会長 ありがとうございます。

ただいまの説明につきまして、委員の皆様から何かご意見等ございますでしょうか。

委員 資料2-1のさんみらい多賀城・復興団地のバス利用に関するニーズの把握ですが、実際にバスを走らせてほしいなどの要望はあるのでしょうか。みなさん、自家用車を利用していると思うのですが。

事務局 直近の令和2年辺りの調査では、さんみらい多賀城・復興団地へのバスの乗入れを希望するニーズはまだ出ていませんが、今後の発展や就労者の利便性を考えるといずれ必要となる可能性もありますが、バスルートの設定が難しいところになるので、バスに限らずどのような公共交通が望ましいのか、調査していきたいと思います。

委員 さんみらい多賀城の従業員などにアンケートを実施する計画はあるのですか。

事務局 ニーズ調査については、検討させていただきたいと思います。

会長 いずれ、この計画は地域公共交通計画へ切り替えていく、という理解でよいのでしょうか。

事務局 地域公共交通計画の指針に基づいた計画にしていくことをイメージしております。

委員 社会実験の利用割合は、実際どのくらいなのでしょう。

事務局 報告事項でも説明いたしとっておりますが、65歳以上、障害者の方の登録は1,366名の方に登録していただいています。また、更新の申請も必要で、令和5年10月で有効となっている利用者は1,131名となっています。詳しくは、後ほど報告させていただきます。

会長 ほかにございますでしょうか。

それでは、(2) 協議事項イ 多賀城市生活交通ネットワーク計画期間の延伸については承認、ということでもよろしいでしょうか。

[異議なしの声]

会長 次に、議題(2)の報告事項に進みたいと思います。

まず、アの「多賀城東部線及び多賀城西部線運行の実績等報告」を事務局より説明をお願いいたします。

[資料に基づき事務局説明]

会 長 ありがとうございます。

ただいまの説明につきまして、委員の皆様から何かご意見等ございますでしょうか。

会 長 今年の10、11月以降利用者が減少しているのですが、なにか考えられる要因はあるのでしょうか。

事務局 おそらく、10月から11月にかけてインフルエンザが流行りだしたので、その影響と思われる。

委 員 社会実験は、何年くらいまでする予定なのか、教えていただきたい。

事務局 この社会実験は、令和4年10月から開始してそこから最大3年としているので、令和7年9月を予定しておりましたが、アンケート調査や利用動向により仮説どおりとなっているかを見極められれば、早めに終了し本施策に展開していくことも想定しております。

会 長 次の報告事項、報告資料4と関連する部分があると思うので、よろしければ社会実験の状況と利用者の動向等について説明いただければと思います。

[資料に基づき事務局説明]

会 長 ありがとうございます。

ただいまの説明につきまして、委員の皆様から何かご意見等ございますでしょうか。

委 員 多賀城東部線・多賀城西部線での登録者の違いとかはあるのでしょうか。

委 員 鈴木委員の質問に関連して、地区別の利用者数はあるのかも伺いたい。

事務局 20ページに、居住地別のアンケートを取っています。

事務局 分析しているところでは、報告資料3の2ページを見ていただくと、社会実験開始後は、利用人数が増加しているが、一方で運賃収入は伸びてこない状況です。社会実験により65歳以上の方の運賃収入が入ってこないで減少しているが、社会実験参加者以外の利用者数も伸びているので、運賃収入は横ばいである状況で、登録状況は多賀城東部線が圧倒的に多い状況となっています。

会 長 住所については、アンケートでしか確認できないのでしょうか。

事務局 登録の段階で、住所を入力してもらうので、登録の段階で居住地は把握しています。

会 長 地区別で65歳以上の人口が違うでしょうから、地区別の登録割合でどのような特徴があるのかという見方をさせていただくと良いのかなと思います。また、実際に利用が増えた方で図書館の利用が上位にきているので、その点でこの社会実験の目的が達成できているとみてもよいのかなと思います。併せて、さらに利用促進するような働きかけをご検討いただければと思います。

事務局 現在社会実験を始めて1年が経過したところではあるのですが、アンケートを極端に変えることは考えていないのですが、加えて聞くこととすれば、バスを使わない時はどうしているかを確認しないと、行動変容が確認できないと思っているので、次のアンケートではバスを利用しない場合は、どのような交通手段で目的を達成しているのか確認したいと思いますので、その点も踏まえながら周知の方法等も考えて生きたと思います。

会 長 6ページの資料を確認させていただくと、思ったより若い70歳未満の方も利用されている。この世代は自家用車の運転をされている方も多いと思うので、この世代がこれだけ有効割合が高いところが今後期待されるころだと思います。一方で、より

高齢になってくると、有効割合が低くなるので、この世代がまだスマホを使えていない、あるいはもともとの外出機会が少ないと考えられると思います。

委員 障害をお持ちの方々の登録が少ないと思われませんが、考えられる要因はあるのでしょうか。

事務局 就労支援施設の活動に時間が合わない、一人で利用することができない方もいるので、付き添いが必要な方などは単独で登録する方が少ないと思われま。また、アンケート件数は少ないものの、21ページの円グラフから、もともとスマホは使っていたが外出する機会が増えたと回答する方が多く、外出機会の創出として少しは成果が出てきていると思います。それと、65歳以上、障害者の条件が重なった場合、65歳以上を選択するようにしているので、その点も低い要因になっていると思います。

委員 付き添いの方を無料にする考えはないのでしょうか。

事務局 その点は、今後の展開のなかで、検討していきたいと思。公共交通の充実の面からすると、収支を安定させる必要があること、地域の足としての観点から考えると、福祉施策として並行して考えていかなければならないので、全体的な検討の中で進めていきたいと思。

会長 この点は、交通として行うのか福祉として行うのか難しいところだと思っておりますが、しっかり連携をとって行っていただければと思。

委員 利用者が多いときの、車いすの方の利用はどうしているのでしょうか。

事務局 健常者の方々に、社会的モラルとして感じていただいて、車内案内を通じて協力いただければいいと思っております。

委員 陸前山王駅の階段が急なこともあり、エレベーターの設置等も今後考えていただき、バリアフリーを進めてもらえると良いかと思。

事務局 バリアフリーについては、今後も引き続きJRと協議、話し合いを行っていきたくと思。また、駅の発展はまちの発展に繋がるので、全国の事例なども参考にしながら進めていきたくと思。

会長 その他にありませんでしょうか。

無いようですので、以上で、議題としておりました、協議事項2件と報告事項2件の議論を終了します。円滑な議事進行とご意見ありがとうございました。

会議の進行を事務局へ戻します。

事務局 会長、ありがとうございました。

最後に、その他として委員の皆様から、何かございますでしょうか。

委員 働き方改革等で他の市町村では、バス路線の縮小傾向にあります。さしさわりのない範囲内で結構ですので、乗務員の確報状況等についてお聞かせいただければと思。また、今回タクシー会社の委員もいらっしゃる。コロナ禍でタクシー業界は大変ご苦労されたかと思。乗務員等の現在の状況について、お聞かせいただければと思。

委員 多賀城西部線に関しては、地域のインフラとしては削れないものとなっています。一方で乗務員が潤沢であるかと聞かれると、潤沢ではないのですが、事業者として多賀城市の路線バスを運行していることを誇りに思っていますし、この事業は無くしてはならない、減便してはならないものと思。今現在、乗務員については常

時募集をかけていますし、コロナ禍では観光部門は大きなダメージを受けましたが、地域の足として本事業にプライドを持って行かないと皆さんが生活できなくなってしまうので、乗務員の確保は優先的に行っていきたいと思っております。多賀城西部線については、減便、乗務員がいないので走れないということは考えていないので、そこは責任を持って運行させていただくことをお約束いたします。

委員 乗務員の確保については、コロナ禍になってから難しい状況になってきています。乗務員の平均年齢は、宮城県タクシー協会塩釜支部になりますが、66歳から67歳となっています。乗務員は募集しても、地理講習というものがあり、宮城県の地理、塩釜支部であれば2市3町の地理を学習し、試験を含め4日ほどの日数を要します。そのため、年配の方を採用したとしても、地理講習の時点で辞退される方も見受けられるのが現状です。市長からもタクシーが捕まりにくいという話も受けております。理想としてはタクシー1台に対し、乗務員2.5人が望ましいのですが、弊社の現在としては、タクシー車両よりも乗務員が少ない状況なので、シフトを工夫しながら業務を行っているのが現状です。今後、乗務員が入ってくることを希望しながら、会社を運営していきたいと思っております。今回のバスルートの延伸は、市民の方が喜ぶのであれば申し分ないですが、公共交通について今後相談しながら行っていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

委員 地域にとっては、バスだけじゃなくタクシーもなくてはならないものですので、今後のまちづくりについても相談させていただきますので、よろしく願いいたします。

事務局 本日は、長時間にわたり誠にありがとうございました。

以上をもちまして、令和5年度第2回多賀城市公共交通会議を閉会させていただきます。

本日はありがとうございました。